受託業者を特定するための評価基準

別紙１

業務名　：　事業者協力型広域自家用有償旅客運送調査検討業務委託

●企業の経験及び能力等

評価項目		評価の着目点		判断基準	技術点 小計	技術点 合計
企業の経験及び能力		専門技術力	業務執行技術力①	平成２５年４月１日以降、本業務における公告日までに完了した同種業務又は類似業務の実績を次のとおり評価する。 同種業務：事業者協力型自家用有償旅客運送導入業務（※１） 類似業務１：事業者協力型自家用有償旅客運送導入の検討に関する業務（※１） 類似業務２：デマンド交通導入の検討に関する業務（※１） ①同種業務の実績がある ②類似業務１の実績がある ③類似業務２の実績がある ④上記①②③以外	①８ ②６ ③２ ④０	２０
			業務執行技術力②	平成２５年４月１日以降、本業務における公告日までに完了した同種業務又は類似業務の実績を次のとおり評価する。 同種業務：利用者と運転手のマッチング機能を持たせたシステムの導入に関する業務（※１）（※２） 類似業務：AIデマンド交通システムの導入に関する業務（※１）（※２） ①同種業務の実績がある ②類似業務の実績がある ③上記以外	①８ ②４ ③０	
		情報収集力	地域精通度	平成２５年４月１日以降、本業務における公告日までに完了した国又は地方公共団体発注の業務の元請実績の有無について、次のとおり評価する。 ①奈良県内における業務実績あり ②上記以外	①４ ②０	

※１ 国又は地方公共団体が発注した業務に限る。
※２ システムとはwebやアプリケーション等の情報システムを指す。

●審査項目（実施方針）

	評価の着目点 判断基準	技術点 評価点	技術点 小計	技術点 合計
業務理解度	目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	※※	２	２２
業務フロー	業務実施手順を示す業務フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。		４	
業務スケジュール	業務量の把握状況を示す業務スケジュールの妥当性が高い場合に優位に評価する。		６	
その他	業務内容に適した実施体制となっている場合に優位に評価する。		１０	

●審査項目（業務内容）

		評価の着目点 判断基準	技術点 評価点	技術点 小計	技術点 合計
①新たな交通サービスの設計及び導入	交通空白地について	交通空白地域における公共交通のニーズ把握方法、対象エリアや運行範囲の設定、迅速で効率的な配車や相乗りのマッチング、配車アプリ等システムの操作性、横展開施策が可能な複数の運行形態及び運行エリアに対応できるシステムの汎用性等についての工夫が具体的かつ的確な記載となっているか	※※	２０	５８
	観光地について	観光地域における公共交通のニーズ把握方法が具体的かつ的確な記載となっているか	※※	４	
②ドライバー人材バンクの創出		ドライバー人材バンクの組成時に関する提案、自家用有償旅客輸送ドライバーの持続確保に効果的な提案等について、具体的かつ的確な記載となっているか	※※	１６	
③合意形成及び運行体制構築に向けた支援		地域住民及び利用者の合意形成、運行事業者の運行体制構築に向けた効果的な支援内容であるか	※※	４	
④利用促進に向けた支援		より多くの人に周知する手法、利用促進につながる実現可能性の高い研修内容や資料作り等について、具体的かつ的確な記載となっているか	※※	１０	
⑤工夫提案		上記以外で事業効果を高める独自の取組提案があるか	※※	４	

評価項目	評価の着目点 評価項目	評価基準	小計	合計
参考見積	業務コストの妥当性 業務量の目安として示した限度額を超えている場合、又は、見積項目が不足している場合は特定しない。			

合計	１００

※※ の評価点は、審査員による５段階評価（１００％・７５％・５０％・２５％・０％）を行い、その平均点により算出する。
技術点は、小数第３位を切り捨てし小数第２位まで算出する。